

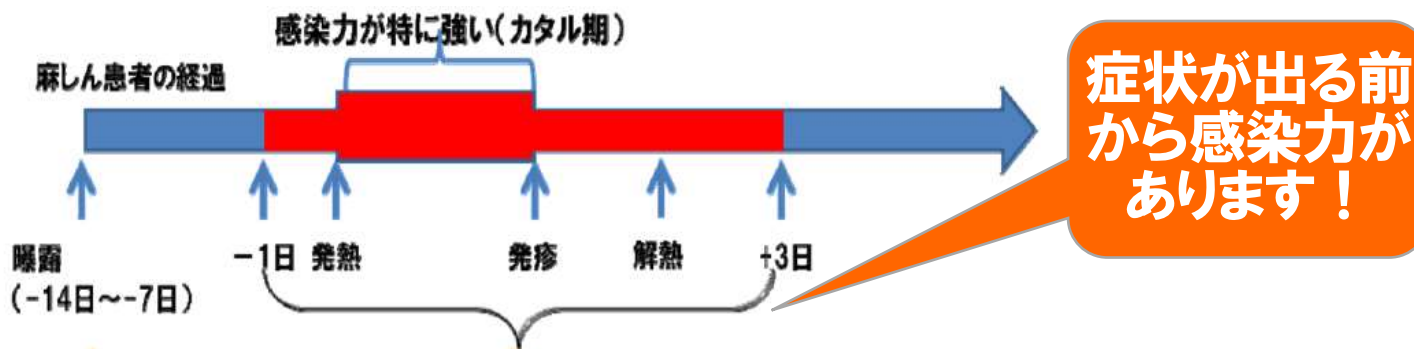


自分と周囲を 麻疹から守るために・・・

麻疹患者と接触した可能性がある方へ

麻疹の感染力はとても強く、感染力を有する期間にある患者と同じ空間を共有した場合、免疫がない人（麻疹にかかったことが確実ではない、麻疹の予防接種を確実に2回接種した記録がない方）は、感染する可能性が高い感染症です。

心当たりがある方は、接触後3週間は、健康状態に注意し、周りの方へ感染させる側にならないよう、不要不急の外出は避けましょう。



参考：国立感染症研究所感染症疫学センター 麻疹発生時対応ガイドライン

**麻疹患者と接触したら、
免疫があることが確実である場合を除き、
不特定多数の人との接触を避けましょう。**

**次の症状が認められたら、
事前に医療機関に電話してから受診しましょう。**

- その際、人が集まる場所に行くのは避けてください。
- 公共交通機関の使用も避けましょう

【発熱、せき、鼻水、目の充血/目やに、発しん（赤いぶつぶつ）】

もう一度確認。麻しんの予防について

1 麻しんに対して免疫がない人は、特に注意が必要です。麻しんの予防接種歴を母子健康手帳などで確認しましょう。2回接種していない方は、予防接種を検討してください。

1歳以上で麻しん（はしか）を含むワクチン*を2回受けた記録が残っている人、麻しん（はしか）にかかったことが確実（検査で確認）な人は、感染するおそれは極めて低くなります。

*麻しんワクチン、麻しん風しん混合（MR）ワクチン、麻しんおたふくかぜ風しん混合（MMR）ワクチン

2 定期予防接種の対象（1歳、6歳）になっている人は、ワクチンを受けましょう。

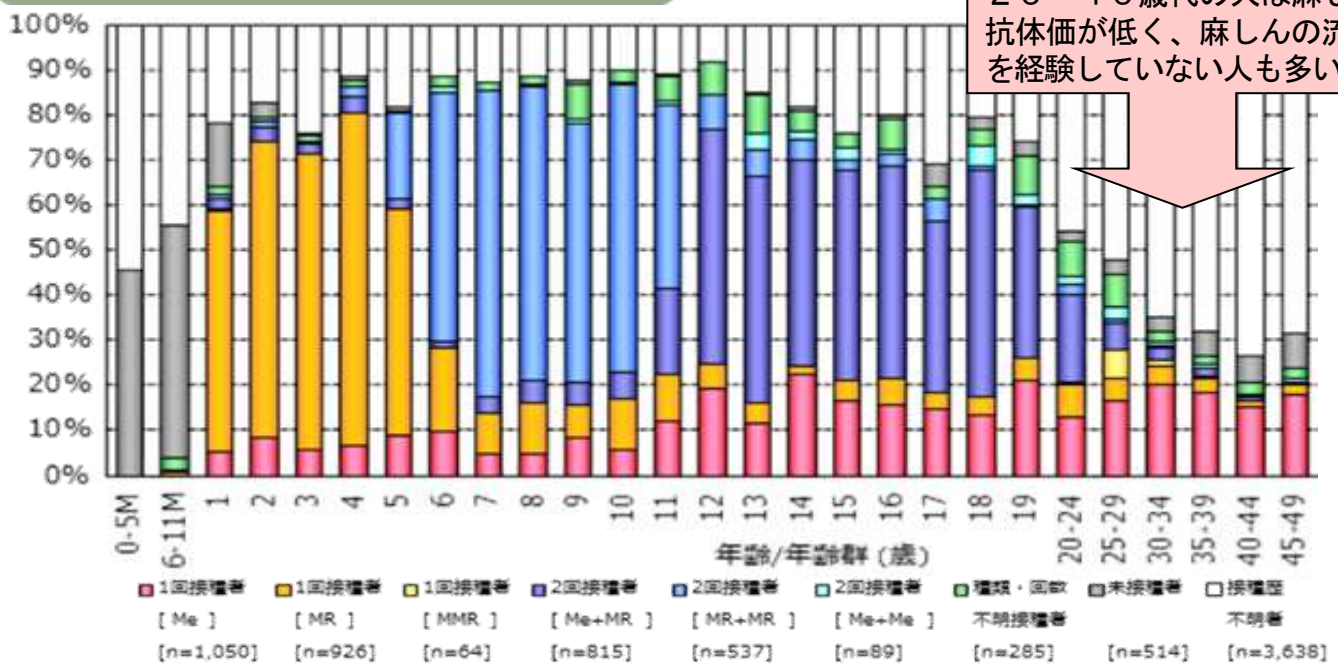
3 麻しんは子どもだけの病気ではありません。

抗体保有率が低い**20～40歳代**の人は特に注意が必要です。

麻しんにかかったことがある、という場合でも、記憶違いということが多くみられます。

年齢/年齢群別麻しん予防接種状況

グラフ：国立感染症研究所感染症疫学センター



※Me：麻疹ワクチン / MR：麻疹風疹混合ワクチン / MMR：麻疹おたふくかぜ風疹混合ワクチン

流行予測2016

感染症に対する感受性は、一人ひとり違うので、周りの方につさないように、気をつけましょう。



ホームページからダウンロードできます。 検索... [県北健康福祉センター](#) センターからのお知らせ